

LARPの世界にようこそ ～深夜の通販番組風～

※ファンタジーのシナリオLARPを想定しています。

※完全に個人の主観で書いています。

※イベントの詳細は、説明をよくお読みの上、各運営団体にお問い合わせください。

ジョージ(以下、ジ):「Hey、ボブ。元気ないじゃないか」

ボブ(以下、ボ)「ここ数年、会社と家の往復だけで……たまの休みも寝てばかり。生きている実感が持てないんだ」

ジ「Oh！それは大変だなあ！」

ボ「ジョージは元気だな。何か秘訣があるのかい？」

ジ「よくぞ聞いてくれたな(さわやかな笑顔)」

何処からか射してくる後光

ジ「LARPを始めてから、毎日が充実していて。人生バラ色なのさ!!(サムズアップ)」

・LARPについての説明は、目の前の端末でお調べください。

・LARPの楽しさについては、Twitterで「LARPの楽しさを教えてください」と呟けば、どこからか親切な人がやってきて教えてくれます。

ボ:「LARPが楽しくて素晴らしいということは、よく分かった。だが……僕には無理だ(肩を落とす)」

ジ:「そんなことないさあ～！ 参加する勇気さえあれば、LARPは誰にだってできる！！(決めポーズ)」

① 衣装・装備がなくてもいい

ボ:「あんなすごい衣装は、僕には用意できないよ」

ジ:「それなら、レンタルがあるイベントを選べばいい！(ドヤ顔)」

ボ:「何から何まで借りて、迷惑じゃないかなあ……」

ジ:「せっかく用意したんだぜ。使ってくれた方がうれしいものさ」

ボ:「それでも、どうやってコーディネートしたらいいか分からないよお～」

ジ:「主催者側は、初心者を実験者に変身させるのが大好きだ。相談すれば、快くアドバイスをくれることだろう。

実験者に変身した時の笑顔が、彼らにとって最高のご褒美なんだ！（歯がキラーン）」

② 運動が苦手でも大丈夫

ボ:「お前は知っているだろう。僕は片足立ちできないくらい、運動音痴であることを」

ジ:「LARPで使うのはおもちゃの軽い武器で、力は不要だし痛みもほとんどない。

安全な戦い方も、主催がきちんと教えてくれる」

ボ:「それでも、敵にボコボコにされて、周りに迷惑をかけるんじゃない……」

ジ:「そこは問題ない。（凄まじく運動音痴な）この文章の作者がここまでやってこれたのが、その証明だ」

ボ:「それなら間違いないな」

※具体的には聞いてください By作者

③ ゲーム知識がなくてもいい

ボ:「そういえば、ジョージの家にゲーム機はないし、TRPGもしたことがなかったと思うんだが……」

ジ:「HAHAHA！ 問題ないね！ 主催者側にも、ゲームをほとんどやったことがない人は意外といる」

ボ:「僕も詳しくはないんだけど、ついていけるかなあ……」

ジ:「主催からの説明さえちゃんと確認しておけば、あとはノリさ！ 質問があれば、みんな優しく答えてくれるしね♪」

④ 演技ができなくてもいい

ボ:「演技なんてしたことがないし、恥ずかしいなあ……」

ジ:「何故、演技をしようと、思うのか」

ボ:「えっ！？」

ジ:「演技する自信がないのなら、『その世界で実験者になった自分』として行動したらいい。素の自分でやればいいのさ！」

ボ:「そんなもんでいいの！！？？」

ジ:「それくらいがいいんだ。心配しなくても、衣装を着ればテンションが上がって、何とかなるものさ！

LARP関係者が全体的に心のパンツ全開だから恥ずかしいとかもうどうでもよくなってきた……のが俺の実体験だ(ダブルピース)」

⑤ 等身大の自分で大丈夫

ボ:「僕でもやれそうな気がしてきたけど、ゴム鞠に手足が生えたような体型の僕でも冒険者になれるのかなあ」

ジ:「ボブ、よく考えてみろ。この世界には色んな奴がいる。だったら当然、異世界にも色んな奴がいるはずだ」

ボ:「でも、僕若くないし、イケメンじゃないし」

ジ:「若者しかいない世界なら、カッコいい老人の魔法使いもいなくなってしまう。
それに、ある程度太っていたり痩せていたりした方がいいキャラクターもいるし、歳を重ねないとできないキャラクターもいる。
お前のコンプレックスも、見方を変えれば個性として活かせるんだ！」

さあ、あなたも**LARP**の世界に飛び込んでみよう！
必要なのは、少しの勇気！！

[2018年LARPアドベントカレンダー Advent Calendar 2018](#)